
朝、目が覚めたら・・・

シックス

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

朝、目が覚めたら・・・

【Nコード】

N3972M

【作者名】

シックス

【あらすじ】

平平凡凡を字のまま生きていた青年、日比野 冥。

彼が目を覚ますと、森の中に！

彼がどう生きていくのか、そんなことをかければいいなあ。

無理だったら、こんな小説を書きます。

悪の魔法少女えヴぁんじえりん。

正義の魔法使いのがんどるふいーに、たかねが襲いかかる。

えヴぁはどう立ち向かうのか！

そのいちっ

オレの名前は日比野 冥！ 齡20のぴっちぴち（死語）の男の子？
だ。

家族構成は父、母、妹と弟の五人家族だ。

父はオレに合う仕事を探しているんだ（キリツと言ってバイトをし
つつ、仕事を探している。

母は、キャー あなたかつこいいと言って父を支えている。

妹と弟は、学生なので働いていないが、あんなのになっではいけない
と思うているらしく
勉強を頑張っている

オレは、良くも無く悪くもない大学に進み、平凡に暮らしていた。

これまで家が持ったのは父と母の、実家のおかげだろう。

オレはそんな平平凡凡な暮らしをしていたのだが、
今不可解な事件に遭遇している。

何かと言うと

朝、目が覚めたら森の中にいた。

な、何を言ってるかわからね かもしれないが
おれも何が起きたかわからね！。

催眠術とか、夢遊病とかそんなちやちなもんじゃねー。

もつと恐ろしい物の片鱗を味わった気がするぜ。

まあネタはこれぐらいにして、いったい何が起きたんだろう。

とりあえず……どうしよう。財布も無い、携帯も無い。

困った。

森を抜けて此処が何処かを確かめないと。

植物は別におかしいものは無いから、地球でいいのだろう。

人を食べているのなら俺は死んでいるのだが……

そんな感じのことを考えていると、大樹が見えてきた。

木なら初めから見ただろう。

確かに普通の木なら確かに見ていた。

しかしこれは大樹なんだ。ギネスに載っている位でかい。

大きさは大体……わからん。しかし兎に角でかいんだ。

一回落ち着いてから、オレは情報収集しようと

おもしろい人を探したんだが、

周りは明るいというのに人影が見えない。

少し待てば人が来るだろうと思い、近くにあった椅子に腰掛けた。

椅子に腰をかけると、森の中を歩いているのが疲れていたのだろう。まあ貴重品などはないので、盗まれるものは無いだろうと思い、オレは、意識を手放した。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3972m/>

朝、目が覚めたら・・・

2010年10月10日14時45分発行